

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年10月28日

開催日	平成30年10月25日	時 間	10:00~12:00
場 所	区民活動センターAB会議室	出席人数	12名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 祥代
テーマ	第二学習 艱難実録(函館戦争)(中)⑭		
概 要	<p>五稜郭内外には軍事に携わっているように取られるので、それより離れたところに旅宿することとなった。</p> <p>君公は谷地頭の佐吉宅を旅宿とした。桑公は神明社神主宅を借り受けた。小笠原公は五稜郭外の旅宿に移られた。その後函館御台場先東風泊を宿とした。</p> <p>仙台より今まで三公と一緒に居られたが別々になられた。</p> <p>佐吉はよく世話をしてくれ、正月には雑煮、屠蘇を差し上げることができた。</p> <p>春になり桃、桜、杏の花が咲き乱れ絶景である。</p> <p>金子だんだん乏しくなり新調するわけにいかず、綿抜をしたり洗い張りをして調えた。</p> <p>君公は馬好き故一疋買入れたが逃げられてしまった。</p> <p>正月中旬頃、会藩横浜より参り、一先ず上海行きを勧めた。三公はお会いになり相談をした。泉州は遅くとも三月一杯には仏船が迎えに来ると当てにしている。</p> <p>正月下旬小子函館に行った所、松山から君公のご様子伺いに四人が来た。当地には御賊名は免れず又御降伏もできないので、一先ず西洋へお出でになっては如何かと。江戸へ戻り金策をし三月下旬には戻るということでそれを一日千秋の心持で待っていたが参らず困窮していた。</p> <p>官軍は函館征討のため三月八日八艘で品川を出発した。宮古沖にて待ち受けていた。</p> <p>幕軍は回天艦、二番回天艦、蟠龍艦三艘で函館を出発した。途中難風に会い離れ離れになってしまった。回天艦のみで宮古へ仕掛けたが勝利なしと見切り引き返した。</p>		
次回予定	平成30年11月8日 10:00~12:00 於：区民活動センターAB会議室 第一学習 野島浦 鈴木家文書⑪		